

私たちが相談に乗ります！



事業再生の担い手として、公正中立の立場から前向きに取り組めます

＜統括責任者＞ 新崎 康

県内金融機関出身。プロジェクト融資や中小企業者向け融資及び経営改善支援を経験してきました。そのノウハウを踏まえ、各金融機関、民間専門家及び支援機関と連携し、お客様を伴走支援し、お客様と地域を共に支えてまいります。



事業のお悩み何でもご相談ください

古堅 宗靖

県内金融機関出身。これまで営業店において様々なお客様の悩みなど生の声を見聞してきました。事業・財務に関するアドバイスも含め金融マンとしての経験を活かし、真摯に相談業務に望んでおります。



悩める中小企業者をサポートいたします

伊波 芳裕

県内金融機関出身。事業再生含む融資業務全般に携わってきました。中小企業者に寄り添って傾聴の姿勢で臨み、中小企業者の実態及び要望を把握して、経営改善を的確にサポートしていきたい。なんでもご相談ください。



幅広く中小企業者の経営課題に対応します

内間 春菜

税理士事務所、ファンド会社、事業会社などに勤務。税務会計支援や経営支援を経験しており、幅広い経営改善の知見を活かし、資金繰りに困っているお客様に寄り添い、経営課題を深掘りして改善策をアドバイスします。



地域中小企業の活性化を支援します

東川平 信雄 中小企業診断士

県内金融機関出身。中小企業者の事業再生に向けた取組を支援するため、相談にきめ細かく応じ、支援フェーズに対し弁護士・公認会計士など専門家、地元金融機関、支援機関と協力・連携しながらお客様に伴走し、実用的、実効性のある支援をサポートいたします。



中小企業者と金融機関との懸け橋になります

新城 孝幸 中小企業診断士

県内金融機関出身。収益力低下及び借入金増加のおそれのある中小企業者を対象に、収益力改善計画（アクションプラン、簡易な収支・資金繰り表など）の策定支援を行い、資金繰りに困っているお客様に寄り添った支援を心がけています。



再チャレンジ及び保証債務整理に向けた支援を提供します

大島 優樹 弁護士、中小企業診断士

法律事務所に弁護士として勤務。事業再生が極めて困難な中小企業者や保証債務に悩む経営者等に対し、債権カットを伴う抜本的な再生や円滑な廃業、保証債務の整理などをサポートしています。



経営改善計画策定のサポートを行います

長嶺 一秀

県内金融機関出身。国が認定した民間専門家の支援により、早期経営改善計画（資金計画、ビジネスモデル俯瞰図、アクションプランなど）の策定及び金融支援を伴う経営改善計画策定のサポートを行っています。経営改善計画の策定が必要な場合、いつでもご相談ください。

中小企業の事業・財務の課題解決を支援

中小企業の駆け込み寺

沖縄県中小企業活性化協議会（活性協）は、中小企業の財務的安定のための収益力改善をはじめ、借入金返済等の課題を抱えた中小企業の経営再建に向けた取組を支援する、国が設置する公正中立な機関です。

また、国が認定する士業等専門家（認定経営革新等支援機関）の支援を受けて経営改善計画等を策定する場合、専門家に対する支払費用の一部を活性協が支援しています。

このように活性協では、中小企業の経営課題に幅広く対応し、活性協と地域の士業等専門家による支援体制を整えています。困ったときは早めのご相談をお勧めします。

こんな時

ぜひご相談ください！

- ✓ 経営改善を図りたいが、どう進めればよいかわからない
- ✓ コロナ融資を受けてしのいできたが、返済が始まると資金繰りが苦しい
- ✓ 返済猶予を受けたいが、金融機関に相談するのは不安がある
- ✓ 客観的に自社の課題・問題点を把握したい
- ✓ 収益を改善して財務的安定を図りたい



窓口相談
無料

秘密
厳守

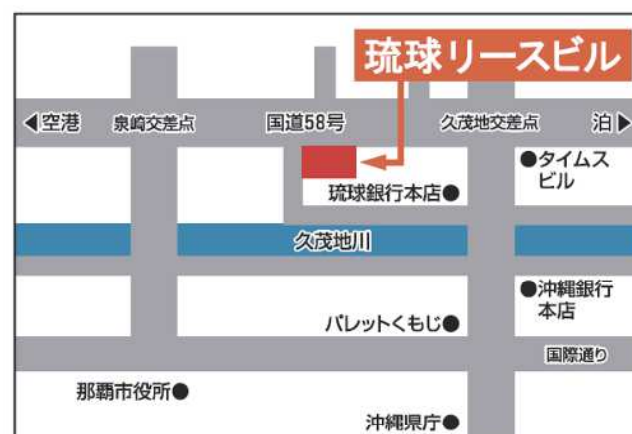
早い段階から活性協への相談がおすすめです！

沖縄県中小企業活性化協議会

☎ 098-868-3760

〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 7 番 1 号
琉球リース総合ビル 5 階 502 号室



※お車で越えの方は、近隣のコインパーキング等をご利用ください。

Be a Great Small.
中小機構



支援の流れ

財務上の課題をお持ちの中小企業

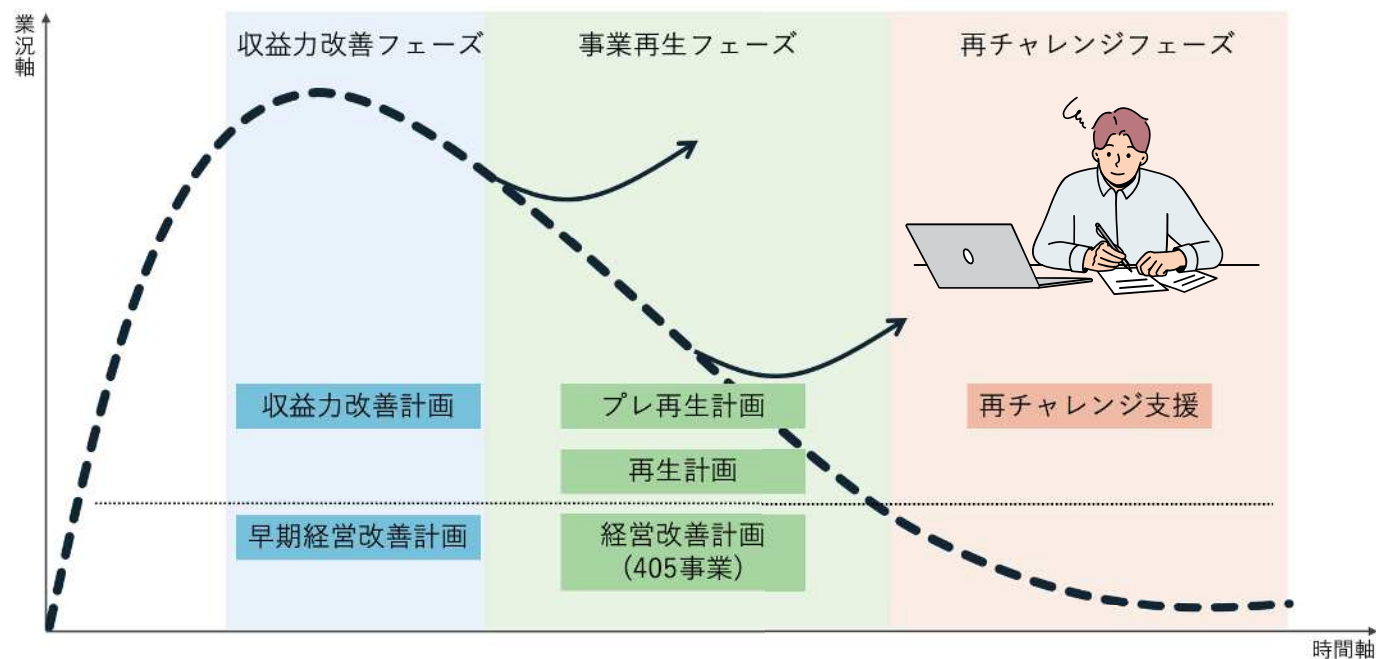


沖縄県中小企業活性化協議会

窓口相談

- 面談や提出資料の分析を通して経営上の問題点や具体的な課題を抽出します
- 課題の解決に向けて適切なアドバイスをを行い、必要に応じて事業者のフェーズに合わせた支援（収益力改善、事業再生、再チャレンジ）を実施します。

事業者のフェーズに合わせた支援



収益力改善計画

- ・有事に移行しないよう収益力の改善に向けた支援。
- ・「金融支援あり」は1年間のリスクの依頼が主な計画。
- ・アクションプラン＋月別損益＋月別資金計画を作成する。
- ・必要に応じて、専門家（中小企業診断士等）に策定支援してもらう。

プレ再生計画 及び 再生計画

- ・事業面の実態調査（中小企業診断士が担当）は、外部環境・内部環境の分析により事業内容を把握し強み・弱み及び問題点・課題を認識する。
- ・財務面の実態調査（公認会計士又は税理士が担当）は、財務三表の時系列分析等により窮境状況の把握、窮境要因を特定する。
- ・事業計画策定のポイントは、
 - ①実態調査（DD）で明らかになった課題・窮境原因をどのように除去・改善するのか。
 - ②改善施策が具体性のあるアクションプランとして策定されているか。
 - ③経営者が計画内容に腹落ちしているか。
 - ④事業計画の実現可能性が確保されているか等。
- ・数値基準の達成状況等により、「プレ再生計画」と「再生計画」に分かれる。

早期経営改善計画

- ・土業等専門家（認定経営革新等支援機関）を活用した支援で、内容的には「収益力改善計画（金融支援なし）」と同等程度。
- ・策定の目的は、客観的な経営状況の把握と金融機関との関係づくり。

経営改善計画（405事業）

- ・土業等専門家（認定経営革新等支援機関）を活用した支援で、内容的には「プレ再生計画」と同等程度で、数値基準は満たす必要はない。
- ・策定の目的は、金融支援を取り付けるとともに、業況改善の可能性と自社の取組を対外的に示す。

再チャレンジ支援

- ・「事業の再生が極めて困難であると判断した場合」であっても、相談企業及び保証人に対して、「円滑な廃業」又は「経営者・保証人の再スタート」に向けて、各種アドバイスや代理人弁護士を紹介を行う。
- ・また、保証債務の整理が必要な場合には、「経営者保証ガイドライン（単独型）」に基づき、保証債務の整理を支援していく。

事例① 農業生産法人株式会社クックソニア

プレ再生計画

代表
芳野 幸雄さん



住所：沖縄県名護市名護 4607-1
設立：2009年9月

活性協を利用したきっかけ

2009年に法人を設立以降、農業の六次産業化を目指して多角的に事業を展開していましたが、資金繰りがうまくいかず、2018年に一回目の経営危機に陥りました。廃業を覚悟しつつ沖縄振興開発金融公庫に相談したところ、活性協を紹介されたのがきっかけです。活性協や専門家のサポートを受けながら経営改善に取り組んでいましたが、2024年6月に新型コロナウイルスの影響で資金繰りが悪化したため、二回目の事業再生計画支援を受けることとなりました。

経営者としての自覚の変化

相談する前は、経営計画も立てずみんなが喜んでくれればそれで良いという感覚で事業を行っていましたが、その結果資金繰りが追い付かなくなりました。良い農産物を作るだけではなく、しっかりと経営に繋げていかなければならないとアドバイスを貰い、現在もう一度やり直しているところです。経営悪化の原因は、人手が足りな



いのに経営を多角化しすぎてしまったことだと指摘を受け、今は飲食店事業に注力しています。その成果もあり、今年に入ってから、昨年の天候不順の影響で農業は苦戦していますが、飲食店事業が安定し経営に大きな損害はありません。

耳の痛いところまでアドバイスしてくれる

もっと早く相談していれば、傷口は小さく済み回復も早かったと思います。自分のやり方にプライドがあると人に相談しにくいかもしれませんが、経営の深いところまで相談できる相手がいない中、瑞慶山さんからは、耳の痛いところまでアドバイスいただき、経営者としてやるべきことを教えていただきました。中小企業の身近な存在である税理士や金融機関の担当者は、ぜひ早めに活性協に相談に行くことを経営者に勧めてもらいたいです。



収益力を高めたい時に使ってほしい

（中小企業診断士 瑞慶山さん）

芳野さんは、やんばる地域の農業の発展に欠かせない人材です。特に地元の食材を活用したカフェを経営の主軸にする計画が決まってからは、経営への熱意と責任感が伝わりました。以前の活性協は、業況が厳しくなってから相談に行くイメージがありましたが、現在の活性協では、経営者の寄り添いながら支援を行っています。借入金や資金繰りに少しでも悩みがある経営者は、ぜひ活性協を活用してください。

事例② 株式会社ハッピーフィールド

再生計画

代表
福原 英一さん



住所：沖縄県宜野湾市長田 4-5-1
設立：2014年4月

活性協を利用したきっかけ

支援を受ける前はケーキ店を4店舗営んでいましたが、売上げが伸びず2店舗を閉店するなど資金繰りが厳しくなり、借入金の返済が滞り信用保証協会とサービサーへ代位弁済になってしまいました。その後、ホテルや観光小売業からのOEM生産を始めると、観光需要の高まりを背景に順調に売上げが伸びました。特に売れ筋の一つである「シーサークッキー」は、国際通りのクッキー専門店で一日5千個売れており、生産が追いつかなくなったため、新たに機械を導入しようとしたものの、過去の代位弁済から融資を受けられなかったため、沖縄県よろず支援拠点に相談したところ、活性協を紹介していただきました。



粘り強い交渉の結果、新規資金の調達と設備投資を実現

融資を受けるためには、代位弁済されている債権の正常化と、融資をしてくれる先を見つける必要がありました。それらをまとめてくれたのが活性協です。

活性協の専門家が改善計画を策定し、よろず支援拠点が関係機関と粘り強い交渉をしてくれました。その結果、新たに融資してくれる金融機関が見つかり、機械を導入できたおかげで順調に売上げを伸ばしています。すでに現状の設備では対応できないのオファーが来ており、断らざるを得ないほどの状況です。融資先探しや経営の道筋の作成だけでなく、中小機構には工場の衛生面指導も対応していただき、とてもありがたかったです。



自分の確信を信じて相談してほしい

資金繰りが厳しい時に、消費者金融に手を出したりせず、早めに公的機関に相談したことが良かったと今は思います。成功するという強い意志、確信があれば、何度も通って相談することが大切です。どんどん行動を起こしてほしいと思います。

まずは相談することを考えてほしい

（中小企業診断士 神谷さん）

当社は苦しい経営時代があり金融機関からの新規融資が受けられない状況にありました。活性協のテーブルで再生計画を策定したことにより融資を受けることができ、事業が好転しております。これも、各支援機関が活性協の下、支援体制が構築できたことが大きな要因でありました。まずは活性協へ相談することをお勧め致します。